

■「鐘の鳴る街会津」事業～期待できる効果～

- お寺の鐘を同時刻に一齐に打ち鳴らす事により情緒ある城下町の雰囲気を作り出す。
- 鐘撞きにより我々市民が「仏都会津」としての魅力、資産の再発見が出来る。
- 近隣の住人や子供達が鳴り響く鐘の音を聞く事により、会津に住んでいる事を誇りに思う。
- 観光で訪れる方々にも鐘撞きを体験していただき会津の精神を共有してもらおう。
- 市中に響く鐘を通じて地域の一体感と心のつながりを醸成する。
- 市民と寺院の関係が希薄なものになった昨今鐘撞きをする事でコミュニケーションの一翼を担えるのではないか。
- 文化的統一感のある街づくり。
- 観光客が鐘つき体験を通して会津の歴史にふれることで、より主体的な参加型の観光を提供できる。



鶴ヶ城で鐘をつく観光客



夕暮れの城下町演出
 きょうまで鐘つき体験
 夕暮れの会津若松市 十分程度、鐘つきを体験できる。
 街に響く鐘の音 鶴ヶ城から鐘の音 鶴ヶ城から鐘の音
 が響く「鐘の鳴る街会津」が、三日から催されている。五日まで観客が午後五時から三

ある鐘つき場で実施する。初日の三日はカッフルや家族連れが大勢の観光客が詰め掛け、鐘を鳴らした。「ゴーン」「ゴーン」と街に鐘の音が広がり、城下町の風情を醸し出している。